

関連団体の自殺対策推進事業の取組について
2023年度取組実績
2024年度取組予定

● 法律相談事業関係

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績内容
関連-地域-1- ⑬	総合相談会・法律相談窓口	総合相談会や法律相談窓口を実施しています。また、法律相談を通し、弁護士会と町田市の連携強化を図ります。	総合相談会（9月）の実施や、市民相談室で法律相談窓口を行っている。 市民法律相談は昨年度に比べて特に変化はない。深刻な相談は特にないのが現状である。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績内容
21	民間団体との連携を強化する	総合相談会・法律相談窓口	総合相談会や法律相談窓口を実施しています。また、法律相談を通し、弁護士と町田市の連携強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 市民相談室での法律相談窓口の実施（通年） 総合相談会での相談を受けている法テラスの弁護士との情報連携強化

● 北里大学医学部精神科学

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績
関連-地域-2-⑬	学生指導に関する喫緊の課題に関する研究会	自殺予防は大学における喫緊の課題である一方で、自殺に至る背景は複雑であり、自殺予防対策を講じても防ぎきれないことがあります。自殺しようとする人は援助要請行動が乏しいと言われており、また、学生相談室や精神科医療にかかっているだけでは大丈夫という保障はありません。全学的に体制を整えながら継続的に考え取り組んでいくことが重要であり、大学教職員に対して自殺予防に関する研究会を実施しています。	教員に対しての、大学での自殺予防に関する研修を、学生相談室と協力して行っている。北里大学病院として、救急センターに来院した自殺未遂者が円滑に精神科に繋がるように体制を整えている。また、病院では、ゲートキーパー養成を「死にたいという気持ちをうちあけられたときにどうするか」の院内研修をオンラインで行っている。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績
24	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	自殺対策を含めた学生のメンタルヘルスに関する指導	自殺予防を含む学生のメンタルヘルス対策は喫緊の課題です。学生及び教職員の理解を深めるために、学生相談室との連携、学生を対象とした講義、教職員への講習を行っています。	自殺とメンタルヘルスについて、学生及び教職員の理解を深めるために、学生相談室との連携、学生を対象とした講義を行っている。

● 特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容
関連-地域-1- ⑮	遺族支援事業	自死・自殺で大切な人を亡くした人が、偏見にさらされることなく悲しみと向き合い、必要かつ適切な支援を受けながら、その人らしい生き方を再構築できるように、総合的な遺族支援の拡充を図り、誰にとっても生き心地のよい社会の実現に寄与することを目的とし、講演会やわかちあいの会、社会保険労務士や弁護士等の専門家への相談会を実施しています。	くわかちあいの会『まちだ』 ゆっくりカフェの参加者者数＞4月：6名、6月：6名、8月：8名10月：13名、12月：9名、2月：5名 参加者は市内50%・市外50%となっている。 昨年度に比べ、いずれの回も参加者が増えており、会が認知されてきているのと同時に、継続参加する方にとって日常から離れることのできる貴重な居場所にもなっている。毎回参加する方や時々参加する方もいるが、ほぼ毎回新規の参加者がいる状況である。また、1回あたりの参加者数も増えていることから、前半は全員、後半は2つのグループに分け、参加者の発言時間を確保するようにしている。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
20	遺された方への支援を充実する	遺族支援事業	自死・自殺で大切な人を亡くした人が、偏見にさらされることなく悲しみと向き合い、必要かつ適切な支援を受けながら、その人らしい生き方を再構築できるように、総合的な遺族支援の拡充を図り、誰にとっても生き心地のよい社会の実現に寄与することを目的とし、講演会やわかちあいの会、社会保険労務士や弁護士等の専門家への相談会を実施しています。	2023年度に引き続き、偶数月の第1日曜日にわくわくプラザ町田において「わかちあいの会『まちだ』 ゆっくりカフェ」を開催し、自死遺族が安心できる居場所づくりを行う。

● 特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話
 2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容
関連-地域-1-⑰	電話相談	変化の激しい現代社会において、困ったり不安になったりしたときに、誰にも相談できずにいる人が数多くいる中で、電話で話すことにより、再び生きる勇気を見出していけるよう、よき隣人であることを願いながら、無償ボランティア相談員が電話相談を受けています。また弁護士による法律相談も受け続けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談の実施[東京多摩いのちの電話]毎日午前10時～午後9時、毎月第3金曜午前10時～翌々日日曜午後9時まで連続、第3火曜午後4時～午後6時法律相談ダイヤル[フリーダイヤル]毎日午後4時～午後9時、毎月10日午前8時～11日午前8時 ・2024年3月ホームページを刷新し、利用者が各種相談電話と、支援機関の情報に、よりつながりやすくした。 ・希望のある自治体においてゲートキーパー研修を開催した。 ・自殺予防の普及啓発事業として公開講座の開催準備に着手した。（2024年度開催予定）

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
2	地域レベルでの実践的な取り組みへの支援を強化する	電話相談	変化の激しい現代社会において、困ったり不安になったりしたときに、誰にも相談できずにいる人が数多くいる中で、電話で話すことにより、再び生きる勇気を見出していけるよう、よき隣人であることを願いながら、無償ボランティア相談員が電話相談を受けています。また弁護士による法律相談も受け続けています。	電話相談の実施・東京多摩いのちの電話（毎日午前10時～午後9時、毎月第3金曜午前10時～翌々日日曜午後9時まで連続、第3火曜午後4時～午後6時法律相談ダイヤル） ・フリーダイヤル（毎日午後4時～午後9時、毎月10日午前8時～11日午前8時）
5	自殺対策に関わる人材の確保、養成及び資質の向上を図る	電話相談員の養成	電話相談に従事する人材を育成するため、電話相談員養成プログラム（養成期間：1年6か月程度）を定期的に実施します。	電話相談員養成研修を開催する。（受講しやすいよう年度単位の期間で開催。2024年度は既に開催中）
6	自殺対策に関わる人材の確保、養成及び資質の向上を図る	ゲートキーパーの養成	支援者及び一般市民を対象とするゲートキーパー養成研修を、地域及び職域において、要請に基づき開催します。	要請に基づき、地域及び職域においてゲートキーパー研修を開催する。
18	社会全体の自殺リスクを低下させる	公開講座・講演会・イベントの開催	一般市民を対象に公開講座・講演会を開催し、いのちの大切さや、死生に関する課題を提供します。また、誰にも訪れる「死」と「いのち」についての地域での様々な取り組みとの連携を図ります。	自殺予防の普及啓発事業として、いのちの大切さをテーマにした公開講座を開催する。

● 八王子労働基準監督署町田支署1/2

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績内容
関連-地域-1-⑪	自殺対策に関連する取り組み	働き方改革の主要施策が長時間労働の削減と過重労働防止であり、それに対応して、メンタルヘルス対策を推進しています。各事業場に対し、心の健康づくり計画作成等について啓発指導を行います。また、2015年12月から義務づけられたストレスチェック制度の周知を行います。	通常業務として過重労働による健康障害防止、労働時間の適正な管理、ストレスチェックの実施等について指導を行った。全国労働衛生週間の準備期間である9月に開催された説明会において、過重労働による健康障害防止やメンタルヘルス対策について企業担当者に講義をし周知を図った。
関連-地域-2-⑪	ワーク・ライフバランスの推進	長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進、労働時間等の設定改善による業務の見直しにより、ワーク・ライフバランスを実現します。	ワークライフバランスの実現に向けて、2023年度は、企業担当者に対しての講習会を12回実施した。
関連-地域-2-⑫	講習会やイベント開催への講師派遣	労働基準行政の取り組みについて理解・周知を図るため、各団体の会員の方、取り組みを考えておられる対象の方について、講習会やイベント開催への講師派遣を行っています。	例年講習会を実施している都立高校からの要望を受け、12月に講習会を実施した。

● 八王子労働基準監督署町田支署2/2

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン 2 4 – 3 1 に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
25	勤務問題による自殺対策を更に推進する	自殺対策に関連する取り組み	働き方改革の主要施策である長時間労働の削減と過重労働防止に向けて、労働時間管理の徹底及び長時間労働の是正を推進しています。各事業場に対し、職場におけるメンタルヘルス対策を推進し、ストレスチェック制度の適切な実施を促進します。	労働条件調査を通じて長時間労働を行っていることが確認された場合は、労働時間削減に関する指導を行い、長時間労働に起因する健康障害の防止を図る。また、ストレスチェック制度の適切な実施を含めたメンタルヘルス対策の取り組みを促すために、東京産業保健総合支援センターによる訪問支援の勧奨を行う。
26	勤務問題による自殺対策を更に推進する	ワーク・ライフ・バランス*の推進	長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進、労働時間等の設定改善による業務の見直しにより、ワーク・ライフ・バランスを実現します。	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、企業担当者に対して、時間外労働の上限規制等に係る講習会を、2025年3月末までに最低12回実施する。
27	勤務問題による自殺対策を更に推進する	講演会やセミナー等への講師派遣	労働基準行政の取り組みについて理解・周知を図るため、各種団体が開催する講習会やセミナー等に講師派遣を行っています。	東京都、町田市が行う労働相談会、商工会議所が行う労務管理セミナー等に講師派遣を行う。

● 町田公共職業安定所

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容
関連-地域-1-⑬	失業対策事業	失業者（転職希望者を含む）に対する職業相談、職業紹介を雇用保険制度、求職者支援制度を一体的に行います。また、専門家である精神保健福祉士を配置し、主に精神障がい者に対し就職活動の不安軽減のためのカウンセリング等を行います。	<ul style="list-style-type: none">・毎月1回「介護・福祉相談面接会」開催の他、随時ミニ面接会を開催。12月に町田市（経済観光部産業政策課）と共催で合同就職面接会（20社程度参加予定）を開催。・町田市男女平等推進センターと連携し「女性のための就職準備セミナー」を7月、9月、10月、令和6年1月、2月に開催。・町田市子ども生活部子ども家庭支援センターの協力を得て、8月に「ひとり親全カサポートキャンペーン」実施（計12名相談）。・「障がい者を対象とした就職準備セミナー」を5月～7月の3日間で第1回、11月～1月の3日間で第2回を開催。
関連-地域-1-⑭	生活保護受給者等就労自立促進事業	生活保護受給者等に対し、ハローワークと福祉事務所等地方公共団体が一体となったきめ細やかな就労支援を行うことにより、就労による自立を促進します。町田市の生活保護担当部署とも連携し、取り組んでいます。また、町田市役所の一角にて「就労サポートまちだ」という窓口を開設しています。	<ul style="list-style-type: none">・継続して実施。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
16	社会全体の自殺リスクを低下させる	生活保護受給者等就労自立促進事業	生活保護受給者等に対し、ハローワークと福祉事務所等地方公共団体が一体となったきめ細やかな就労支援を行うことにより、就労による自立を促進します。町田市の生活保護担当部署とも連携し、取り組んでいます。また、町田市役所の一角にて「就労サポートまちだ」という窓口を開設しています。	2023年度の取組を継続するとともに、市との情報共有、連携を図る。
28	勤務問題による自殺対策を更に推進する	失業対策事業	失業者（転職希望者を含む）に対する職業相談、職業紹介を雇用保険制度、求職者支援制度を一体的に行います。また、専門家である精神保健福祉士を配置し、主に精神障がい者に対し就職活動の不安軽減のためのカウンセリング等を行います。	<ul style="list-style-type: none">・就職面接会の開催・就職活動に関するセミナー、イベント等の実施・ひとり親全力応援キャンペーンの実施（市との連携）・障がい者を対象とした就職準備セミナーの開催

● 町田警察署

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績内容
関連-地域-1-⑩	自殺対策に関連する取り組み	個人の生命、身体保護については、警察の責務として日々活動しています。自殺に関しては、通常業務を通じて情報収集を行っています。身近な困りごとについては生活安全課にて相談に応じ、生活相談で自殺に関する相談も受けています。精神保健福祉法に基づき、自傷他害のおそれのある場合には、保健所へ通報するなど連携しています。	令和5年1月1日から同年6月30日までの間、町田市内における自殺者数34名、自殺未遂者数65名であり、自殺未遂者を取り扱った場合には、身体安全を確保することを最優先とし、精神保健福祉法に基づく第23条通報を行うとともに、これにあたらぬ場合は、家族等と相談のうえ医療措置に繋げている。引き続き、警察においても関係機関や民間の事業者の方々と緊密に連携を図りながら自殺対策を推進してまいります。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績内容
19	自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ	自殺対策に関連する取り組み	個人の生命、身体保護については、警察の責務として日々活動しています。自殺に関しては、通常業務を通じて情報収集を行っています。身近な困りごとについては生活安全課にて相談に応じ、生活相談で自殺に関する相談も受けています。精神保健福祉法に基づき、自傷他害のおそれのある場合には、保健所へ通報するなど連携しています。	令和6年1月から4月末までの精神保健福祉法に基づく第23条通報は23件であり、その内8件が自殺企図によるものですが、今後も関係機関と緊密に連携し、通報の積極的な運用により、自殺防止対策を推進してまいります。

● 南大沢警察署

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容
関連-地域-1-⑩	自殺対策に関連する取り組み	個人の生命、身体の保護については、警察の責務として日々活動しています。自殺に関しては、通常業務を通じて情報収集を行っています。身近な困りごとについては生活安全課にて相談に応じ、生活相談で自殺に関する相談も受けています。精神保健福祉法に基づき、自傷他害のおそれのある場合には、保健所へ通報するなど連携しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺未遂等自殺関連の通報を受理した際は速やかに臨場して自殺企図者を保護し、安全を確保した上で親族等適切な保護者に引き渡している。 ・精神錯乱による自傷他害の恐れが認められる場合は、精神保健福祉法に基づく23条通報を行うなどして、保健所、医療機関と連携をとろうとしている。 ・自殺企図者の行方不明事案に対しては、特異行方不明者として組織的に対応し、可能な限りの発見活動を速やかに実施して保護者又は医療機関等に引き継ぐなどしている。このような活動には関係機関や民間企業の協力が不可欠であることから、今後も強固な協力関係を構築し、可及的速やかな発見、保護活動をしていきたい。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
19	自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ	自殺対策に関連する取り組み	個人の生命、身体の保護については、警察の責務として日々活動しています。自殺に関しては、通常業務を通じて情報収集を行っています。身近な困りごとについては生活安全課にて相談に応じ、生活相談で自殺に関する相談も受けています。精神保健福祉法に基づき、自傷他害*のおそれのある場合には、保健所へ通報するなど連携しています。	通常業務を通じて自殺に関する情報収集を行うとともに、生活安全相談では、自殺に関する相談に対して定期的に連絡を行うなど継続的な支援を行います。また、自傷互いのおそれがある場合など危険性・切迫性が認められる場合は、精神保健福祉法に基づく23条通報を行うなど、保健所と連携して対処します。

● 町田消防署

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績
関連-地域-1-⑨	救急対応	東京消防庁では、精神疾患のある傷病者に対する救急対応の際に、救急隊長の判断により東京都保健医療情報センターひまわりに連絡し、本人承諾のもと、傷病者本人とセンターとで直接電話で対話できるよう働きかけています。また、救急の現場において患者の状況等に応じ、警察、高齢者福祉課、障がい福祉課等、関連機関と連携し、その後のフォローにつなげていくようにしています。	令和5年中の自殺に関する救急要請件数は計206件で、そのうち病院に搬送された人数は148名でした。年代別によると、20代の要請が69件と最も多く、以下40代が30件、10代が26件の順になりました。また、搬送された148名の程度は、中等症が59名、軽症が46名、重症と重篤が共に17名でした。搬送されなかった58件の内訳は、社会死（社会通念上死亡と判断されるもの）が30件、搬送辞退（患者本人が病院搬送を辞退したもの）が23件、事実なしが2件、その他現場にいた医師に引き継いだものが3件でした。救急要請が最も多かった20代における男女比は、男性17名に対し、女性は約3倍の52名となりました。要請理由の内訳は、薬物過量服用が39件、切創が16件、縊首が6件となっています。なお、参考ですが、自損と断定はできませんが、列車との接触事故は昨年6件が発生しています。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績
12	適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする	救急対応	東京消防庁では、自殺企図や希死念慮*のある傷病者に対し、「東京都こころといのちのサポートネット」を活用し、相談員による病院選定や傷病者との電話での直接対話を行っています。また、救急活動の現場において、警察等の関係機関と連携し、その後のフォローに繋げていきます。	町田消防署では、前年度に引き続き、自殺に関連する救急搬送についての傾向についてを分析し、委員会に情報提供を継続していく。過去、年齢や発見状況について情報提供を行ったが、自殺の形態についても分析していきたい。

● 町田市民生委員児童委員協議会

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容
関連-地域-1- ⑫	見守り活動	70歳以上の単身者、75歳以上の高齢者を、訪問しています（2018年度時点）。また、児童相談所、子ども家庭支援センターと協力し、子どもの見守りを実施しています。生活保護者の家庭に訪問し、その家庭状況を確認し、把握に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り訪問について、個々の事情に応じ、チラシ等を対面または非対面形式（ポスティング）で配布しています。 ・生活保護受給世帯への訪問についても、個々の事情に応じ、福祉だよりを対面または非対面形式（ポスティング）で配布しています。 ・児童相談所、子ども家庭支援センターと協力し、子どもの見守りを実施しています。 ・高齢者の見守り活動、生活保護者の見守りはできるだけ対面で行うようにしたいと思っている。子どもの見守りも要請があれば学校と協力して実施している。 ・自殺をほのめかす相談があったら、できるだけ傾聴するように心がけている。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン2 4 - 3 1に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
1	地域レベルでの実践的な取り組みへの支援を強化する	見守り活動	担当の区域において高齢者の訪問や見守りを行っています。また、児童相談所、子ども家庭支援課と協力し、子どもの見守りを実施しています。生活保護者の家庭に訪問し、その家庭状況を確認し、把握に努めています。	<p>〈2023年度と同内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り訪問について、個々の事情に応じ、チラシ等を対面または非対面形式（ポスティング）で配布します。 ・生活保護受給世帯への訪問についても、個々の事情に応じ、福祉だよりを対面または非対面形式（ポスティング）で配布します。 ・児童相談所、子ども家庭支援センターと協力し、子どもの見守りを実施します。 ・高齢者の見守り活動、生活保護者の見守りはできるだけ対面で行うようにしたいと思っています。子どもの見守りも要請があれば学校と協力して実施していきます。 ・自殺をほのめかす相談があったら、できるだけ傾聴するように心がけています。

● 公益社団法人東京都町田市歯科医師会

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績
関連-地域-1-⑦	障がい者歯科診療事業	初診患者の中で精神疾患を持つ患者が増加しており、これらの患者診療に際し日常生活の悩み・心配等を配慮し、より密接なコミュニケーションを確立します。	新患等の症例検討会にて問題があれば検討
関連-地域-1-⑧	歯科医師会会員への講演会事業	障がい者歯科診療を通じての会員への学術講演会や、精神疾患を持つ患者への不安軽減のためのカウンセリング等を行います。	実施なし

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績
9	適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする	障がい者歯科診療事業	初診患者の中で精神疾患を持つ患者が増加しており、これらの患者診療に際し日常生活の悩み・心配等を配慮し、より密接なコミュニケーションを確立します。	新患等の症例検討会にて問題があれば検討
10	適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする	歯科医師会会員への講演会事業	障がい者歯科診療を通じての会員への学術講演会や、精神疾患を持つ患者への不安軽減のためのカウンセリング等を行います。	未定

● 一般社団法人町田市薬剤師会
 2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績
関連-地域-1-⑥	関係機関の相談・紹介	薬局に薬を受け取りにきた方へ医療関係の相談、紹介を行っています。健康相談として利用し、不眠や不安等が続く方には受診勧奨をしています。	多重受診者または偽造処方箋使用者と疑われる際は、会員内、医師会、保健所との情報共有を行っている今年度は3件報告あり。
関連-地域-2-②	ブース出展や薬物乱用防止教室の実施	毎年、総合健康づくりフェアへのブース出展や学校薬剤師として小中学校の児童生徒を対象に薬物乱用防止教室を実施しています。	町田市総合健康づくり月間への参加 ・子ども薬剤師体験 日時：11月3日（金）11時～15時 会場：子どもセンターつるっこ 内容：お菓子を使用した調剤体験、服薬指導。 参加者：18名 ・お薬相談 日時：11月5日（日）10時～15時 会場：ぽっぽ町田 内容：お薬、健康食品、サプリメントの相談 ヘルスチェックコーナー（握力・血管年齢・視力・貧血等）の併設 参加者：2名 市内小中学校にて薬物乱用防止教室の実施 小学校46講座、中学校：9講座

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績
8	適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする	関係機関の相談・紹介	来局した不安、不眠などこころの不調をかかえる市民に対して、適切な初期支援を行える薬剤師を増やします。そして受診勧奨を行い、本人に適切な医療・支援を受けられるようにサポートします。	2023年度の実績を継続する。多重受診者または偽造処方箋使用者と疑われる際は、会員内、医師会、保健所との情報共有を行い、対応を行っていく。
17	社会全体の自殺リスクを低下させる	ブース出展や薬物乱用防止教室の実施	町田市総合健康づくり月間への参加や学校薬剤師として小中学校の児童生徒を対象に薬物乱用防止教室を実施しています。	町田市総合健康づくり月間への参加。※詳細未定 ・子ども薬剤師体験（子どもセンターにて） ・お薬相談 市内小中学校で薬物乱用防止教室の実施予定。

● 社会福祉法人町田市社会福祉協議会1/2

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績
関連-地域-1-①	安心生活創造推進事業（成年後見制度推進・福祉法律相談）	虐待事案において、被虐待者を守るため成年後見人等の支援者を決定し、弁護士による相談を実施します。	引き続き、毎月第3火曜日の午後に実施している。1回4件まで受け付けている。2023年度の実績は相談件数は42件でした。
関連-地域-1-②	日常生活自立支援事業	消費者被害等の経済問題、ソーシャルサポートが欠如している方への支援を行います。	2022年度に引き続き定期的な支援を実施している。2024年3月末時点での利用者は123人となっています。
関連-地域-1-③	生活福祉資金等貸付事業	低所得世帯や障がい者、要介護高齢者のいる世帯に対する資金貸付と相談支援を行います。	2022年度に引き続き実施している。食に困窮している借受人に向けて食材提供の支援を実施するごはんてエール事業は、2023年度は8回実施、725件配付を行いました。
関連-地域-1-④	心配ごと相談	日常生活における心配ごとや悩みごとに、心配ごと相談員が電話で相談に応じます。	継続中、2023年度は116件の電話相談対応を行いました。
関連-地域-1-⑤	受験生チャレンジ支援貸付事業	低所得世帯で進学を希望している子どもへの支援を目的に、学習塾等の受講料、高校・大学等の受験料について、無利子で貸し付けを行う事業です。	継続中、2023年度の相談件数は2,151件、貸付件数は375件の貸付決定に至りました。
関連-地域-2-①	ここなび（こころのナビゲーション）	子どもパソコン相談であり、小学生から高校生までの悩みごとに答えるホームページです。「友だち」「家族」「学校」「性・からだ」「自分自身・性格」「恋愛」から質問と答えを閲覧でき、自分の相談を送ることも可能です。相談に対する回答の掲載を継続します。	継続中、2023年度の「ここなび」の総アクセス数は、506,093件でした。

● 社会福祉法人町田市社会福祉協議会2/2

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
13	社会全体の自殺リスクを低下させる	安心生活創造推進事業 （成年後見制度推進・福祉法律相談）	虐待案件において、被虐待者を守るため成年後見人等の支援者を決定します。弁護士による法律相談を実施し権利侵害などの相談に対応しています。	毎月第3火曜日の午後に無料の法律相談を実施する。1回4件まで受け付けている。成年後見制度については、市民からの相談に対して制度の説明や申し立ての支援などを行う。本人の権利侵害につながる恐れのあるケースについては権利擁護支援検討委員会を開催し成年後見制度を含めた対応方法を検討する。
14	社会全体の自殺リスクを低下させる	日常生活自立支援事業	消費者被害等の経済問題、ソーシャルサポート*が欠如している方へ、福祉サービス利用の手続きのお手伝いや、日常的な金銭の支払いなどの支援を行います。	2023年度に引き続き、生活支援員が定期的に訪問し支援を実施する。
15	社会全体の自殺リスクを低下させる	心配ごと相談	日常生活における心配ごとや悩みごとに、心配ごと相談員が電話で相談に応じます。	2023年度の実施を継続
22	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	受験生チャレンジ支援貸付事業	低所得世帯で進学を希望している子どもへの支援を目的に、学習塾等の受講料、高校・大学等の受験料について、無利子で貸し付けを行う事業です。	2023年度の実施を継続
23	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	ここなび（こころのナビゲーション）	子どもパソコン相談であり、小学生から高校生までの悩みごとに答えるホームページです。「友だち」「家族」「学校」「性・からだ」「自分自身・性格」「恋愛」から質問と答えを閲覧でき、自分の相談を送ることも可能です。相談に対する回答の掲載を継続します。	2023年度の実施を継続

● 町田商工会議所

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容
関連-地域-2-⑨	ストレスチェックの啓発活動	従業員50人未満の中小企業の方に対し、市内の中小企業向けの健康診断を実施し、その中で、ストレスチェックを受けてもらうよう啓発活動を行います。	毎年2回実施しております、中小企業の方に対し健康診断、特に心身の健康を第一にストレスチェックの啓発・セミナーの開催を重点に行いました。※3月 8月の健康診断を行い 合計771名 162事業所の参加がございました。
関連-地域-2-⑩	セミナーの開催	メンタルヘルス関係、労務関係の経営者向け、従業員向けのセミナーを開催します。	例年通り実施済み

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
29	勤務問題による自殺対策を更に推進する	セミナーの開催	経営者や従業員を対象に、職場内の関係強化や働く人にとっての環境改善、労務管理などのセミナーを開催しています。	中小企業の方に対し健康診断の中で、特に心身の健康を第一にストレスチェックの啓発やセミナーの開催を行います。

● 町田市町内会自治会連合会（地区協議会）

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実績内容
関連-地域-3-①	町田市各地区協議会における総合相談会	各地区協議会で、町内会・自治会・民生児童委員・青少年健全育成委員が連携し、各種相談事案から対象者の発見に努める事業を企画しています。	健康推進課作成のゲートキーパー普及ポスターや総合相談会チラシを掲示板に掲示し、周知を行っている。

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の実績内容
3	地域レベルでの実践的な取り組みへの支援を強化する	相談会	地区協議会で、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成委員等が連携し、地域の方が気軽に相談できる場を作っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が気軽に相談できる場を作ります。 ・健康推進課作成のゲートキーパー普及ポスターや総合相談会チラシを掲示板に掲示し、周知を行います。

● 町田市立小学校1/2

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実施内容
主な取組2-(3)-②	【新】SOSの出し方に関する教育の推進事業（学校教育指導課）	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	実施
関連-地域-2-③	心のアンケート	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行っています。必要に応じて担任が聞き取り、スクールカウンセラーにつないでいます。	実施
関連-地域-2-④	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や10分休みや昼休みの時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくように取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	実施
関連-地域-2-⑤	相談機関の一覧表配布	町田市教育委員会指導課から配布された相談機関の一覧表を全校配布しました。学校だよりの裏面に印刷し、子どもたちだけでなく、保護者にも情報が届くようにしました。	実施
関連-地域-2-⑦	校内委員会	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の生活の様子等について確認し、どう児童生徒を支援していくかの話し合いを行っています。児童生徒の状況によっては、児童相談所、教育相談所、警察署、子ども家庭支援センター等とも連携を取り合っています。	実施
関連-地域-2-⑧	生活指導集会	生活指導集会に取り組み、気になる児童の様子等を話し合いの場に出して、情報交換をしています。	実施

● 町田市立小学校2/2
2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン24-31に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
30	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校での生活指導部会等の実施	生活指導部会等に取り組み、気になる児童の様子等について情報交換を行います。	毎月定期的に実施する校内委員会や学校いじめ対応チーム定例会を実施し、情報交換を行いながら生活指導体制を強化していく。
31	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校におけるSOSの出し方に関する教育の推進事業	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	長期休業前等に、DVD等を活用しながら実施。
32	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校における心のアンケートの実施	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行います。悩みを抱えている子どもがいた場合は、必要に応じて担任等が聞き取り、スクールカウンセラー＊につなぎます。	アンケートは毎月定期的な実施されるいじめ対応チーム定例会にて協議・検討を行い随時対応していく。緊急性の高い案件については、臨時の会を設け即時対応していく。
33	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や休み時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくように取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	左記の通り実施。
34	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	相談機関の一覧表配布「TOKYOほっとメッセージチャンネル」及び「あなたのいばしょ」の活用	長期休業前に、相談機関の一覧表を全校配布します。また、児童・生徒に貸与しているタブレット端末に、不安や悩みについて相談できる「TOKYOほっとメッセージチャンネル」及び「あなたのいばしょ」をブックマークに登録し、児童・生徒がすぐに活用できるよう周知します。	左記の通り実施。
35	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校での校内委員会の実施	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の学校生活の様子等について確認し、どのように児童・生徒を支援していくかの話し合いを行います。状況に応じて、スクールソーシャルワーカー＊やスクールカウンセラー等の専門家や、関係機関とも連絡を取り合っていきます。	左記の通り実施。緊急案件発生時には臨時会を設け、即時対応していく。

● 町田市立中学校1/2

2023年度取り組み実績（町田市自殺対策計画に基づく）

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実施内容
主な取組2-(3)-②	【新】SOSの出し方に関する教育の推進事業（学校教育指導課）	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	年度初めや長期休業前等に、SCやDVD等を活用しながら「SOSの出し方に関する教育」を行い、関係連絡諸機関の紹介をしている。
関連-地域-2-③	心のアンケート	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行っています。必要に応じて担任が聞き取り、スクールカウンセラーにつないでいます。	市内全中学校で毎月末に実施している。アンケート結果をいじめ対応チームで確認し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。
関連-地域-2-④	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や10分休みや昼休みの時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくように取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	各校で工夫しながら、あいさつ運動、昼休みや下校時の見守りを行っている。Chromebookの「不適切ワード検知機能」により、死に関連する言葉を検索した生徒を検出できるようになっている。
関連-地域-2-⑤	相談機関の一覧表配布	町田市教育委員会指導課から配布された相談機関の一覧表を全校配布しました。学校だよりの裏面に印刷し、子どもたちだけでなく、保護者にも情報が届くようにしました。	市内全中学校で、東京都教育委員会が作成した相談機関の一覧表を配布した。（年度初め、長期休業前）
関連-地域-2-⑦	校内委員会	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の生活の様子等について確認し、どう児童生徒を支援していくかの話し合いを行っています。児童生徒の状況によっては、児童相談所、教育相談所、警察署、子ども家庭支援センター等とも連携を取り合っています。	市内全中学校で、毎月実施している。スクールソーシャルワーカーによる学校巡回を通して、各校の生徒情報を共有し、必要な支援について協議している。
関連-地域-2-⑧	生活指導集会	生活指導集会に取り組み、気になる児童の様子等を話し合いの場に出して、情報交換をしています。	生活指導部会や特別支援教育(教育相談)校内委員会として市内全中学校で、毎週実施している。年度当初に各学級の生徒情報を共有し、その後も気になる生徒についての情報交換と支援方法について確認している。

● 町田市立中学校2/2

2024年度取り組み予定（まちだ健康づくり推進プラン2 4－3 1に基づく）

通番	施策の方向性	取り組み事業	事業内容	2024年度の具体的な事業予定
30	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校での生活指導部会等の実施	生活指導部会等に取り組み、気になる児童の様子等について情報交換を行います。	市内全中学校で、毎週実施する。年度当初に各学級の生徒情報を共有し、その後も気になる生徒についての情報交換と支援方法について確認する。
31	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校におけるSOSの出し方に関する教育の推進事業	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	年度初めや長期休業前等に、SCやDVD等を活用しながら「SOSの出し方に関する教育」を行い、関係連絡諸機関の紹介をする。
32	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校における心のアンケートの実施	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行います。悩みを抱えている子どもがいた場合は、必要に応じて担任等が聞き取り、スクールカウンセラーにつなぎます。	市内全中学校で毎月末に実施する。アンケート結果をいじめ対応チームで確認し、いじめの早期発見・早期対応に努める。
33	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や休み時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくように取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	各校で工夫しながら、あいさつ運動、昼休みや下校時の見守りを行う。Chromebookの「不適切ワード検知機能」により、死に関連する言葉を検索した生徒を検出できるようになっており、必要により該当生徒に聞き取りをする。
34	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	相談機関の一覧表配布「TOKYOほっとメッセージチャンネル」及び「あなたのいばしょ」の活用	長期休業前に、相談機関の一覧表を全校配布します。また、児童・生徒に貸与しているタブレット端末に、不安や悩みについて相談できる「TOKYOほっとメッセージチャンネル」及び「あなたのいばしょ」をブックマークに登録し、児童・生徒がすぐに活用できるよう周知します。	市内全中学校で、相談機関の一覧表を配布する。（紙またはChromebook）
35	子ども・若者の自殺対策を更に推進する	小中学校での校内委員会の実施	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の学校生活の様子等について確認し、どのように児童・生徒を支援していくかの話し合いを行います。状況に応じて、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家や、関係機関とも連絡を取り合っていきます。	市内全中学校で、特別支援教育校内委員会を毎月実施する。またスクールソーシャルワーカーによる学校巡回を通して、各校の生徒情報を共有し、必要な支援について協議する。